

有者及び新感染症に罹患していると疑われる者

- ② 四類感染症のうち、後天性免疫不全症候群、梅毒、マラリア、その他、厚生省令で定めるものの患者（無症状病原体保有者を含む）

2、 以下に掲げる感染症または保菌者が発生した場合は、施設内での感染を防御するために感染症管理部に届ける。

- ①結核菌の排菌者
- ②EKC 発症者
- ③感染性胃腸炎（ノロウイルス、O-157 等）の保菌者
- ④疥癬
- ⑤インフルエンザ
- ⑥薬剤耐性菌保菌者（ MRSA、MDRP、VRE、その他 ）
- ⑦その他重要と思われる感染症

V 病院感染発生時の対応

病院感染が疑われる場合や、重大な感染症で嚴重な感染対策が必要な場合は、以下の 3 つのレベルで対応する

レベル 1・・・通常の感染対策で対応できる場合は、マニュアルに従って口頭で具体的対策を指示する。

レベル 2・・・委員会での決定が必要で、緊急を要しない場合は、定期の感染対策委員会で審議し、方針を決定する。

レベル 3・・・重大な感染症で早急な対応が必要な場合は、臨時の感染対策委員会を開催する。緊急の場合は感染症管理部長の権限で開催し、病院長、感染管理部長、同副部長、感染対策専任者の出席で議決可能とする。

また当該診療科、病棟の責任者も会に召集できる。

VI 職員研修の基本方針

枚方病院における感染対策の基本的な考えや具体策の周知徹底、さらには感染症に関わる最新の知識の習得のために、全職員を対象にした研修会を開く。

- ① 新入職の医師・看護師を対象としたオリエンテーションを入職にあわせて行う。看護助手、清掃業者、調理員などにも必要時に感染予防に関する研修を行う。
- ② その時々の特ピックスや院内で発生した感染症に関係した講演会を、有識者を招き年 2 回以上開催する。
- ③ 研修会や講演会に参加できなかった職員のために、資料や DVD を保存し、より多くの職員が最新の知見が得られるような環境を整える。

VII 患者への指針の公開

枚方病院での病院感染対策指針はホームページに掲載し、誰でも閲覧できるものとする。

院内感染防止対策 研修実施状況

院内感染防止対策研修実施状況（平成19年度実績）

開催年月日	研 修 テ ー マ	参加者数	備 考
H19.4.2	研修医入職時オリエンテーション	26	80分のグループ研修
H19.4.3	研修医入職時オリエンテーション	26	
H19.4.6	看護師入職時オリエンテーション	128	3時間30分講義と演習
H19.5.14	多剤耐性緑膿菌について（切替先生）	191	
H19.7.25	抗菌薬の適正使用（矢野邦夫先生）	93	滝井病院からの中継
H19.11.2	内視鏡の洗浄と消毒（渡辺充朗氏）	136	
H19.12.3	周術期の感染対策（竹末芳生先生）	200	
計		800	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 11 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p> 【前年度実績】</p> <p> 別紙①</p> <p> 【今年度実績及び計画】</p> <p> 別紙②</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有 無)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p> 医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の提供</p> <p> 外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用</p> <p> 医薬品情報の収集・管理・提供</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p> 院内オールユーザー宛Eメールを配信。(別紙③)</p>	

別紙 ①

薬剤部研修会記録

日時 2007年9月27日

場所 薬剤部

参加者氏名

乾有紀子	村中達也	打谷和記	寺澤美智代	高木雅代	喜多春菜
木崎秀和	池嶋孝広	和田幸子	本田信次	久原優子	井上真由美
東村 舞	西尾千恵	畠山京子	上平優美子	西山徳人	鶴見由美子
宇井昌史	長瀧真美	舟見奈奈	中島 愛	田中雅幸	大植謙一
中山大輔	角井寿代	榑 康晴	田中久子	廣田育彦	

I 薬剤部研究発表

- ①「チクロピジンからクロピドグレルへ変更後に肝障害の再燃した1症例」
6Fセライト担当
- ②「病院情報システムにおける処方チェックシステムの存在意義」
～1次・2次チェックシステムの必要性～
田中雅幸
- ③「プロトンポンプインヒビター製剤とワルファリンR体とのCYP2C19を介する相互作用」
～添付文書記載内容の妥当性～
藤井良平

II 保険薬事委員会報告

- ①新規採用医薬品
『セイブル錠50mg』、『ボナロン錠35mg』、『ベガモックス点眼液0.5%』
- ②新規採用決定院外処方箋専用医薬品
『エクストラニールUVフラッシュツインバッグ1500mL』他 (別紙参照)
- ③連絡事項
包装変更品目、販売元変更品目、社名変更製薬企業、長期投与制限解除品目 (別紙参照)
- ④医薬品・医療機器等安全性情報 (No.238) (No.239)
- ⑤その他
 - 1) 腎障害患者に対するガドリニウム含有造影剤使用に関する国内および海外規制機関における対応について
 - 2) リタリンその他向精神薬の適正使用の徹底等について

薬剤部研修会記録

日時 2007年10月25日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	寺澤美智代	高木雅代	喜多春菜	中田有美
齋藤佳代	池嶋孝広	角井寿代	古長育美	榊 康晴	中島 愛
和田幸子	本田信次	久原優子	鶴見由美子	西山徳人	田中久子
宮野綾子	西尾千恵	畠山京子	今井 玲	上平優美子	大植謙一
長瀧真美	舟見奈奈	宇都宮敦子	宇井昌史	廣田育彦	

I 薬剤部研究発表

- ①「薬剤マスタ管理一元化で実現した高次の処方支援システム」
～医療安全確保の視点から～
西山徳人
- ②「ステロイド投与に対する潰瘍予防」
12Fサライト担当
- ③「Review article:drug hepatotoxicity」 Aliment PharmacolTher
2007;25:1134-1151
2年生(入職2年目)

II 保険薬事委員会報告

- ①新規採用医薬品
『エスラックス静注50mg/5.0mL』
- ②新規採用決定院外処方箋専用医薬品
『シアリス錠10mg』
- ③連絡事項
市販直後調査対象医薬品、販売元変更品目(別紙参照)
- ④医薬品・医療機器等安全性情報(No.240)
- ⑤効能・効果および用法・用量変更医薬品について
『バルトレックス錠500,同顆粒50%』 『クラリチン錠10mg』 『シグマート注12mg』
『プラビックス錠25mg,同75mg』

薬剤部研修会記録

日時 2007年11月29日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	澤谷佳美	寺澤美智代	高木雅代	喜多春菜	中田有美	廣田育彦
木崎秀和	齋藤佳代	池嶋孝広	本田信次	渡邊響子	中野 綾	鶴見由美子
宮野綾子	東村 舞	畠山京子	上平優美子	足立裕子	西山徳人	宇都宮敦子
宇井昌史	長瀧真美	佐和田華	松井沙織	舟見奈奈	中島 愛	大植謙一
山寄裕美	中山大輔	濱田陽子	角井寿代	田中雅幸	田中久子	

I 薬剤部研究発表

- ①「ワルファリン服用患者におけるINR値上昇例」
藤井良平
- ②「薬物性急性肝障害のリスク評価」
1年生(入職1年目)
- ③「慢性腎臓病(CKD)患者における投与量調節」
1年生(入職1年目)

II 2007年OHP新入局薬剤師研修会報告

- ①市立池田病院
- ②大阪医科大学附属病院
- ③大阪市立大学医学部附属病院
- ④大阪大学医学部附属病院

III 保険薬事委員会報告

- ①新規採用医薬品
『タケプロンOD錠15』、『タケプロンOD錠30』、
『ビーフリード点滴静注用(1000mL袋)』、『モルペス細粒2%』
- ②新規採用決定院外処方箋専用医薬品
『ジェニナック錠200mg』、『オルベスコ200 μ gインヘラー56吸入用』、『キプレス細粒4mg』
- ③連絡事項
市販直後調査対象医薬品一覧、切替採用品目、剤形変更品目、販売元変更品目、
包装変更品目、錠剤の識別コード変更品目、(別紙参照)
- ④その他

薬剤部研修会記録

日時 2007年12月27日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	澤谷佳美	寺澤美智代	高木雅代	喜多春菜	中田有美	廣田育彦
木崎秀和	池嶋孝広	本田信次	久原優子	中野綾	本西哲	東村舞	西尾千恵
畠山京子	上平優美子	西山徳人	大植謙一	宇井昌史	長瀧真美	舟見奈奈	中島愛
井上真由美	宇都宮敦子	山崎裕美	中山大輔	角井寿代	田中雅幸	古長育美	乾有紀子
田中久子	鶴見由美子						

I 薬剤部研究発表

- ① 「Calvert式のGFRに対しeGFR値を用いる妥当性」
～Ccr値との比較～

角井寿代ら

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品

『パルミコート200 μ gタービュヘイラー56吸入』、『ランタス注オプチクリック300』、
『カーボスター透析剤・P』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品

『フルダラ錠10mg』 『セララ錠50mg』 『ケアロードLA錠60 μ g』 『タリオンOD錠10mg』
『オキサロールローション25 μ g/g』 『プロセキソール錠』

③連絡事項

市販直後調査対象医薬品一覧、剤形変更品目、販売元変更品目、長期投与制限解除品目
医療事故防止目的での製品名変更品目、(別紙参照)

④その他

薬剤部研修会記録

日時 2008年1月24日

場所 薬剤部

参加者氏名

村中達也	打谷和記	上嶋和代	寺澤美智代	高木雅代	喜多春菜	中田有美	廣田育彦
木崎秀和	齋藤佳代	川瀬泰裕	本田信次	藤本佳那子	久原優子	山寄裕美	中山大輔
宮野綾子	本西 哲	西尾千恵	畠山京子	今井 玲	上平優美子	足立裕子	西山徳人
長瀧真美	松井沙織	舟見奈奈	中島 愛	宇都宮敦子	鶴見由美子	角井寿代	古長育美
乾有紀子	榑 康晴	田中久子	大植謙一				

I 薬剤部研究発表

① 「M-VAC療法におけるデキサメタゾン併用による消化器症状軽減効果」
高木雅代ら

② 「慢性腎臓病 (CKD) 患者における投与量調節」 その2
1年生 (入職1年目)

II 保険薬事委員会報告

①新規採用医薬品
『タルセバ錠150mg』, 『ネスプ静注用20 μ gシリンジ』, 『ネスプ静注用40 μ gシリンジ』

②新規採用決定院外処方箋専用医薬品
『セロトーン錠10mg』 『ベセルナクリーム5%』 『ミケランL A点眼液2%』
『トラバタンズ点眼液0.004%』 『ツムラ桂枝湯エキス顆粒』
『ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒』

③連絡事項
市販直後調査対象医薬品一覧、剤形変更品目、錠剤の識別コード変更品目、
医療事故防止目的での製品名変更品目について (別紙参照)

④その他